

## 部 気象および発生源

部では、大気汚染濃度に影響を与えると考えられる気象要素及び発生源について報告する。

	項目名	記載概要
1	気象項目の状況	
1-1	風向風速	季節別及び年間最多風向・最多風向時平均風速分布図
1-2	日射量	月平均、月最高値
1-3	気温	年平均気温分布、年最高気温分布、月平均気温、年平均気温推移
1-4	降水量	年降水量分布、月平均降水量推移
1-5	大気安定度	月別出現時間数等
2	発生源の状況	
2-1	固定発生源	ばい煙発生施設、揮発性有機化合物(VOC)排出施設、一般粉じん発生施設、発生源監視体制の整備、硫酸化物・窒素酸化物排出量の推移
2-2	移動発生源	自動車保有台数、自動車排出ガス対策の推進

# 1 気象項目の状況

大気汚染物質の濃度に影響を与える気象項目として、風向風速、日射量、気温、降水量、大気安定度を選び、平成30年度の概要を示した。

## 1-1 季節別の最多風向と最多風向時平均風速

千葉県内で風向風速を測定している97局(一般局)の測定結果に基づき、季節別及び年間の最多風向と最多風向時平均風速を図1-1-1～図1-1-5に示した。

なお、カームについては、県と同様に0.2m/s以下としている市と、0.4m/s以下としている市が混在しているため0.4m/sに統一し最多風向及び最多風向時平均風速を算出した。

4月～6月：野田地域は東、南南東の風が卓越し、平均風速は3m/s未満であった。東葛、葛南、千葉地域、市原地域の沿岸部は南～南西の風が卓越した地点が多く、平均風速は、3m/s以上の地点が多かった。市原地域の内陸部は南東～南の風が卓越し、平均風速は2～3m/sの地点が多かった。君津地域は南～南西の風が卓越し、平均風速は5m/s以上の地点が多かった。北総、成田地域は北東、北北東の風が卓越した地点と南南東～南西の風が卓越した地点が混在し、平均風速は3～5m/sの地点が多かった。九十九里、長生・夷隅地域は南～南西の風が卓越し、平均風速は3～5m/sの地点が多かった。南房総地域は南～南西の風が卓越した地点が多く、平均風速は4～5m/sの地点が多かった。

7月～9月：野田地域は東、南南東の風が卓越し、平均風速は3m/s未満であった。葛南、東葛、千葉、市原、君津、印西地域は南～南西の風が卓越し、平均風速は5m/s以上の地点が多く見られた。北総、成田地域では北北東、北東の風が卓越した地点と、南南東～南西の風が卓越した地点が混在し、平均風速は4m/s未満の地点が多かった。九十九里、長生・夷隅地域は南～南西の風が卓越し、平均風速は3～4m/sの地点が多かった。南房総地域は南～南西の風が卓越、平均風速は3～5m/sであった。

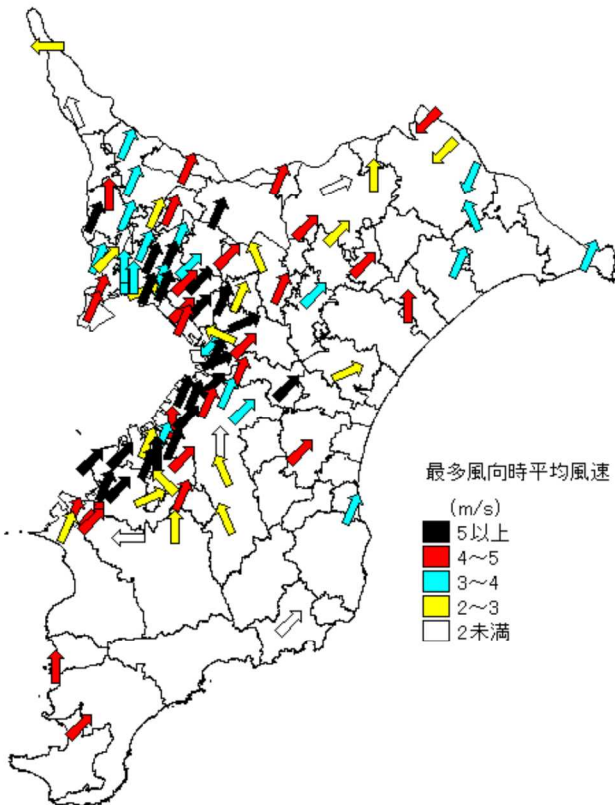


図1-1-1 4月～6月の最多風向と最多風向時平均風速

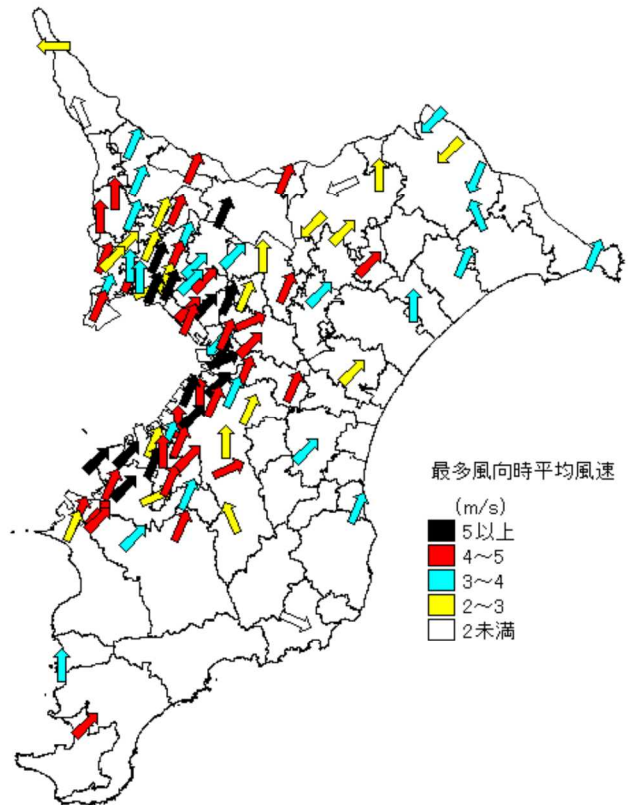


図1-1-2 7月～9月の最多風向と最多風向時平均風速

10月～12月：県全域で北西～北東の風が卓越した地点が多かったが、市原地域の内陸部、君津地域の内陸部では東寄りや南寄りの風が卓越した地点が見られた。平均風速は4m/s未満の地点が多く、4m/s以上は君津地域の湾岸部に見られた。

1月～3月：10月～12月と同様、県全域で北西～北東の風が卓越した地点が多かったが、市原、君津地域の内陸部に東寄りや南寄りの風が卓越した地点が若干見られた。平均風速は4m/s未満の地点が多く、4m/s以上は市原、君津地域に多く見られた。

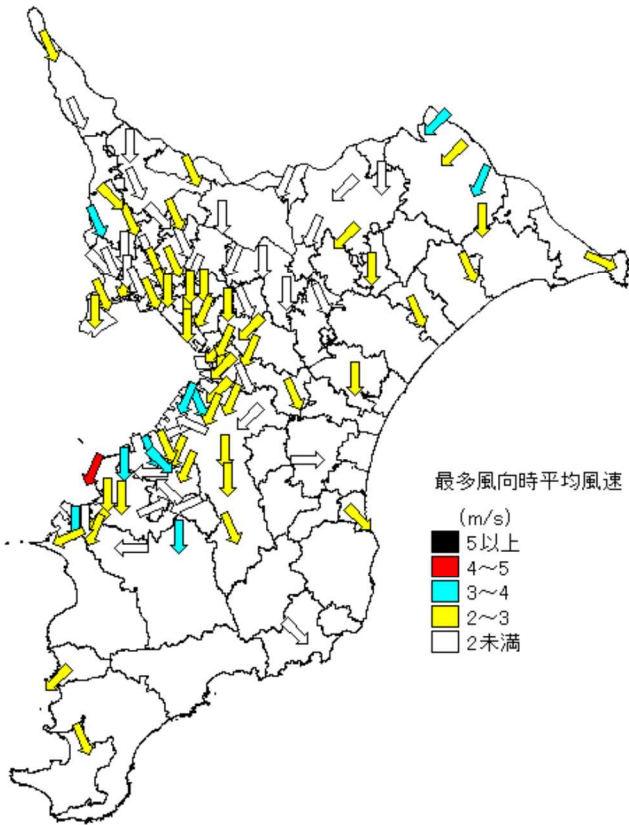


図1-1-3 10月～12月の最多風向と最多風向時平均風速

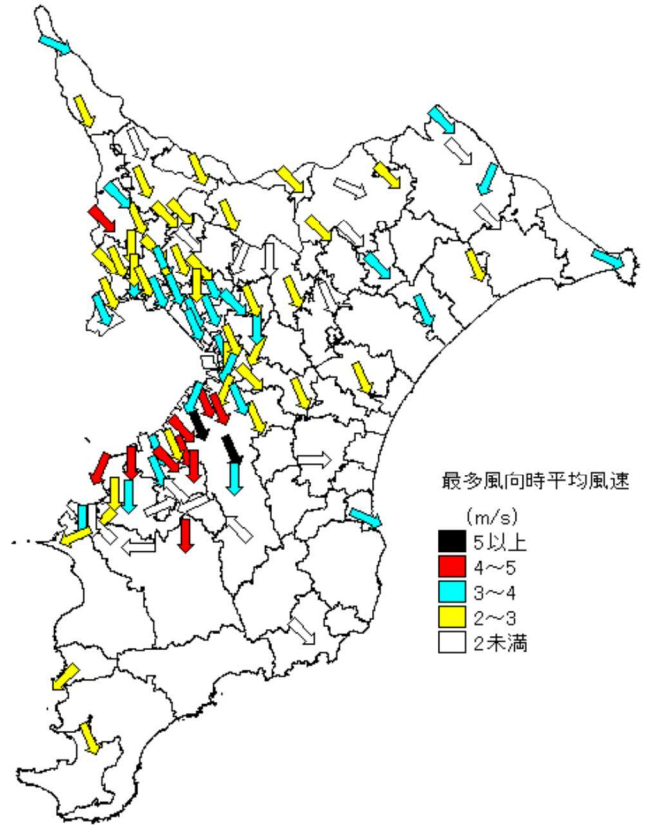


図1-1-4 1月～3月の最多風向と最多風向時平均風速

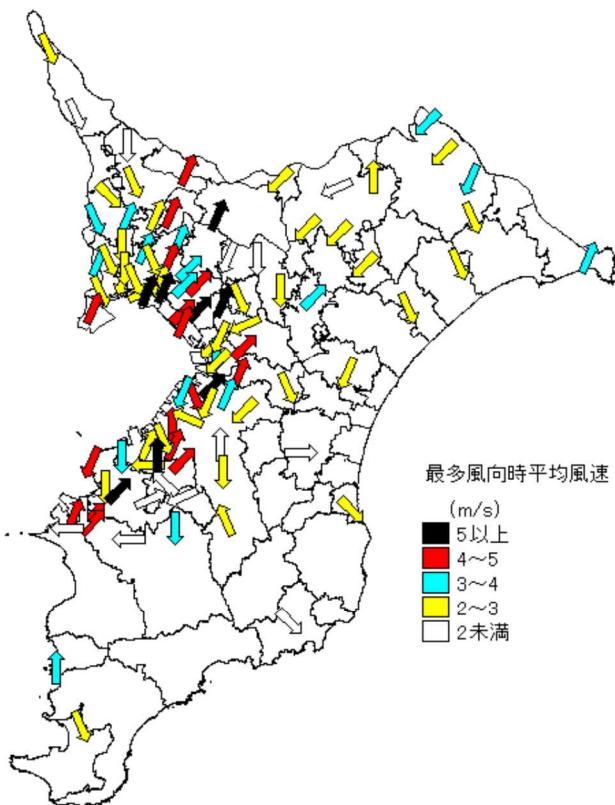


図1-1-5 年間の最多風向と最多風向時平均風速

年間：野田地域は北北西の風が卓越し、風速は3m/s未満であった。東葛、葛南、千葉、市原、君津地域では、南～南西の風が卓越した地点と、北北西～東の風が卓越した地点が混在した。平均風速は南～南西の風が卓越した地点の方が強く、5m/s以上の地点も見られた。印西地域では南南西の風が卓越した地点と北西の風が卓越した地点が多く見られ、平均風速は5m/s以上の地点も見られた。北総、成田地域では北北東、北東の風が卓越した地点が多く見られ、平均風速は2～4m/s未満の地点が多かった。九十九里、長生・夷隅地域の地点は北北西の風が卓越した地点が多く見られ、平均風速は3m/s未満の地点が多かった。南房総地域は北北西の風が卓越した地点と、南の風が卓越した地点に分かれ、平均風速は2～4m/s未満であった。